

令和5年度 保育所経営計画

川北保育所長 竹内由美

【経営理念】

乳幼児期にふさわしい生活や遊びを通して、生涯にわたる人格形成の基礎を
培い生きる力を育む。

【目指す保育所像】

- ☆子どもたちが意欲的に遊び、達成感が持てる保育の展開
- ◆資質向上を目指し、意欲的に経営に参画する職員の育成
- ◎保護者から信頼され、地域に根ざした保育所づくり

【目指す子ども像】

- ・自分の身のまわりのことができる子ども
- ・自分の思っていることが言え、人の話も聞ける子ども
- ・友だちと一緒にがんばる子ども

保育目標を達成するための重点目標と具体的な方策

☆子どもたちが意欲的に遊び、達成感が持てる保育の展開

- ・豊かな心と丈夫な体の育成
- ・一人一人が自分らしさを発揮して夢中になって遊ぶための環境づくり

1.乳幼児期にふさわしい生活や遊びの充実を目指す

- ①子どもたち自身が好奇心や探究心を持って主体的に環境に働きかけて遊べるよう、子ども一人一人の発達に即した環境構成や援助を行う
- ②自分のやりたいことを実現する中で、健康で安全な生活を創りだす力を培う
- ③基本的な生活習慣の確立を目指す

2.友だちや周りの人たちと関わる活動を通して、人と関わる力を培う

- ①友だちや保育者、地域の人たちと関わる機会を多く取り入れ、人と関わる力を育てる
- ②友だちと協同する体験を通して、人の話を聞いたり自分の思いを伝える力を培うとともに、人を思いやる心を育てる
- ③友だちと様々な体験を重ねる中で、自分の気持ちを調整したり、ルールを守ったりする力を育てる

3.身近な環境と関わる中で、豊かな感性を育てる

- ①様々な人や物、自然と関わる中で感じた子どもたちの感動を受け止め、それらを子どもたちと共有することにより、子どもたちの豊かな感性を育てる保育を行う
- ②生活経験や発達に応じて、子どもたちが様々な表現を楽しみ、表現する意欲を十分に発揮することができる環境構成を行う

◆資質向上を目指し、意欲的に経営に参画する職員の育成

- ・保育の意図や子どもの理解を保護者と共有・共感する
- ・職務分担を明確にし、職員が報告・連絡・相談に努め協力して職務にあたる

(1)子どもたちの為に職員が共通の課題認識を持ちお互いに協働して保育を行う体制づくり

- ・定期的に分掌事務の進捗状況を確認する

(2)専門性の向上に努める

- ①園内研修の充実を図る
 - ・指導計画を作成し、職員間で協議する
 - ・保育実践の振り返りと評価を行う
- ②研修会に参加し、報告・共有を行う

◎保護者から信頼され、地域に根ざした保育所づくり

- ・地域とともに歩む保育所作り

(1)保護者や地域に開かれた保育所づくりに努め、信頼される保育所を作る

- ・子どもの育ちや保育への理解を深める機会を作る

(2)保幼小連携の取り組みを推進する

- ・保幼小中高連携教育推進協議会に参加し、職員間の交流を図る

- ・一日入学などに参加し、小学校との連携を図る

(3)地域の関連機関と連携する

- ・社会福祉施設や地域の高齢者と触れ合い、交流する